

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

子どもの人権

対象学年・
取り扱った教科等

6年 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

子どもの権利条約について知り、権利の主体者としての意識を高め、守られる権利があることに気づくとともに、自分を守る方法を知る。

実施した内容

- ・子どもの権利条約について学び、子どもの権利には具体的にどのようなものがあるのか理解する学習（1時間）
- ・身の回りで起こった出来事を権利の視点から検証し、根拠を持って問題点を指摘する学習（1時間）

工夫した点

- ・子どもの権利カードを使用し、子どもが幸せに生きるために大切だと思うものをランキングにして、意見交流をする。
- ・条文に書かれている権利が守られなければ、私たちの生活がどのように変わってしまうのかについて考え、全体で共有をする。

他教科との
関連

社会科にて、子どもの権利条約について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

女性

対象学年・
取り扱った教科等

1年・生活科

目標・人権教育のねらい

- ・家庭での家事分担に占める女性の割合の高さがわかる。
- ・家の仕事や外での仕事は性別に関係なく、家族みんなで支え合っていくことの大切さがわかる。
- ・自分にできることを考え、家での仕事に参加する意欲を持つ。

実施した内容

- ・「家の仕事調べ」を行い、どんな仕事を、誰がしているのかについて児童が調べる。(1時間)
- ・「家の仕事調べ」を交流し、気づいたことや各家庭での違いを話し合う。(1時間)
- ・家事や外での仕事など、内容によって性別が偏っていることについて考える。(2時間)
- ・「家の仕事調べ」交流で思ったことや感じたことを作文に書く。(1時間)

工夫した点

- ・仕事調べの交流の際は、ひとり親家庭の児童に配慮し、詳細な情報は聞かないようにするなど、個人情報への取扱いに注意する。
- ・これから自分にできそうなこと・やってみたいことを作文に書かせた。そうすることで、自分の家での仕事に目を向け、家族での活動に参加する意欲を持たせた。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

4年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 障がい者に対する偏見や思い込みを取り除き、障がい者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 障がい者に対して自分たちができることを調べ、障がい者の現状や課題について理解を深める。

実施した内容

- ・ パラリンピックを通して、感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しを持つ。（1時間）
- ・ 課題の解決に必要な情報を多様に収集し、情報を整理して蓄積する。（3時間）
- ・ 相手や目的に応じて、具体的にまとめ、自分たちにできることを考える。（2時間）

工夫した点

- ・ 活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価基準（「障がいがあるないにかかわらず、共に生きることの大切さに気づいている」「課題解決に向け、探究活動に進んで取り組もうとしている」「学習との関わりの中で、自分にできることを見つけようとしている」等）を設定したうえで行った。

他教科との
関連

- ・ 道徳にて、「パラリンピックの競技」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

6年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 不当な差別を受け続ける人々の思いや憤りを共感的に受け止め、反差別の意識を育てることができる。
- ・ 部落差別の発生に関わる背景を理解するとともに、今なお社会に潜む偏見や差別意識に気づき、部落差別解消を自分たちの課題としてとらえる力を育てる。
- ・ 学級内で気づかない差別が存在していたり、不安や悩みを抱えている仲間がいるのではいかと疑うことができる。

実施した内容

- ・ 「身分制」の学習を通して、武士による政治が安定し始めた一方で、為政者による支配が強まったことについて話し合う。(2時間)
- ・ 身分の固定化により、差別を受けた人々が存在したことを知り、その不当性について話し合う。(1時間)
- ・ 「屠者」と「医者」のそれぞれの存在を知り、差別を受けていた立場の人々の優れた技術と、医術発展に貢献した姿について話し合う。(1時間)
- ・ 当時の差別の具体例を扱いながら、その不当な扱いについて話し合い、被差別の立場に置かれた人々の思いや憤りに気づく。(1時間)

工夫した点

- ・ 同和問題を扱う際、「穢多」や「非人」と呼ばれた人々を「被差別の立場に置かれた人々」という表現に変えて授業を行った。「穢多」と「非人」の棲み分けは、非常に複雑であり、小学校の間にこれらの表現を使い、学習を進めることは間違った知識を児童に与えかねないと考えたからである。また、当時の不当な差別の具体例を授業で取り上げることで、非人道的な扱いを受けていた人々が存在していたという事実を知り、被差別の立場に置かれた人々の思いや憤りを共感的に受け止め、反差別の意識が育つよう工夫した。

他教科との
関連

社会科「基本的人権」「身分制」「渋染一揆」

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

6年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・外国の文化や歴史を学ぶことで、外国人に対する偏見や思い込みを取り除き、外国人の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・外国人に対して自分たちができることを話し合い、現状や課題について理解を深める。

実施した内容

- ・中学校区学びの一体化事業における人権フォーラムで、日本に住む外国人を取り巻く状況や、実体験などについて話を聞く。（1時間）
- ・小グループを作り、困っている人たちに目を向けることの大切さや、差別をなくすために自分たちができることについて、意見交流する。（1時間）
- ・調べ学習や体験を通して学んだことをまとめ、校内に還流する。（1時間）

工夫した点

- ・話し合いの際に、小学生と中学生を混ぜた小グループをつくった。
- ・活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価の基準（「経験談を聞くことを通し、外国人の思いに気づいている」、「自分たちにできることを考え、発表しようとしている」等）を設定したうえで行った。

他教科との
関連

- ・社会科にて、基本的人権について学習した。
- ・道徳にて、「国際理解」について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

3年・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットを利用すれば手軽に情報を入手できるが、インターネット上には間違った情報も多く存在することを知る。
- ・インターネットで得た情報を鵜呑みにせず、よく考えてから利用しようとする態度を育てる。
- ・インターネットを利用することによって起こりうる人権問題について知り、人権侵害を起こさないように気をつける態度を育てる。

実施した内容

- ・公益財団法人 反差別・人権研究所みえより講師の先生を招き、人権とは何か、メディアを活用していくうえで、大事にしていくことは何かを教えていただく。（1時間）
- ・教えていただいたことをもとに自分の経験を振り返り、これまで同じようなことがなかったか、これからどうしていけばいいか交流する。（1時間）

工夫した点

- ・学習したことや子どもたちが考えたことなどを学級通信で保護者に伝え、メディア・リテラシーについて、各家庭でも考えてもらえるように啓発した。
- ・道徳『インターネットの情報は必ず正しいの?』を活用し、メディア・リテラシーについて考えさせた。

他教科との
関連

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

三重県

学校名

四日市市立富洲原小学校

人権課題

新型コロナウイルスに係る人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

5年 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見について考え、適切な行動をとることができるようになる。

実施した内容

- ・ 4月当初、新型コロナウイルスに係わって生じる恐れのある、噂話の事例を取り上げて差別や偏見について考える学習（1時間）
- ・ 2学期、学校再開前の最後のオンライン学習にて、コロナウイルスの現状と自分たちの環境について見つめなおす学習（1時間）

工夫した点

- 【1学期】
- ・ 実際に子どもたちが遭遇することが想定される場面を、パワーポイントを使用し、交互に吹き出しで出すことで視覚的に場面がイメージできるようにした。
 - ・ 子どもたちに発表させたり、ジャーナルノートに書かせたりしながら、子どもたち自身が不安に思っていることを担任教師がつかみやすいようにした。
- 【2学期】
- ・ 4月に配付した「富洲原小学校のやくそく」を再確認した。
 - ・ 5年生の子どもたちが再度意識できるようにすることに加えて、率先して下級生を指導できるように、校歌の歌詞を替え、感染予防の歌を作成した。

他教科との
関連

保健体育科にて、体の健康について確認した。